

# 中央区 自治協議会だより 第12号

平成28年1月17日発行 発行:新潟市中央区 自治協議会だより編集部 電話:223-7035(地域課内)

中央区自治協議会の活動内容を「自治協議会だより」で年3回お知らせします。

区民の皆さんと行政との「協働の要」である区自治協議会では、地域の特色あるまちづくりを進めるため、38人の委員が区役所と連携しながら活動しています。

自治協議会の議事の内容はホームページ([http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyo/kaigi\\_kaisai](http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyo/kaigi_kaisai)) = QRコード=で公開しています。



## 区自治協議会の主な議事(抜粋) 平成27年7月(第4回)～11月(第8回)

平成27年7月から11月までに毎月開催した中央区自治協議会全体会での議事や報告事項の中で、委員が質問・意見・提案を述べたものを抜粋し紹介します。

### ▶新潟市防災基礎調査、地区別防災カルテ、新潟市業務継続計画について(第4回)

**事務局** 巨大地震を想定した防災基礎調査、地域の避難所などの基礎情報を小学校区単位でまとめた防災カルテ、市の非常時優先業務を特定する業務継続計画について説明

**委員** 地区別防災カルテについて、地域や小中学校での防災教育などにおける積極的な活用を促す取り組み内容を質問

### ▶新潟市区のあり方検討委員会の設置について(第5回)

**事務局** 今年度設置された同委員会の設置の趣旨、検討の進め方などを説明

**委員** 論点整理を行う際に、産業や経済の視点を含んで検討するよう要望

### ▶平成28年度特色ある区づくり事業(案)について(意見聴取)(第6回)

**事務局** 同事業について、区ビジョン基本方針に沿った11の事業の概要と意見募集について説明

**委員** 平成27年度との予算額の増減を質問



### ▶中央区支え合いのしくみづくり会議(協議体)準備会構成員の選出について(第7回)

**事務局** 介護保険制度の改正に伴う新たな地域支援事業である同会議について説明

**委員** 豊嶋会長が就任

### ▶鳥屋野潟環境対策検討委員会の報告(第8回)

**事務局**

1. 平成27年10月9日に開催された同委員会で討議された環境対策について説明
2. 外来種の対処については専門家の意見を聞きながら対応する旨説明
3. 鳥屋野潟の水質浄化対策について、自然浄化作用と排水機場を利用した水循環作用を併せて行っている旨説明

### ▶中央区区ビジョンまちづくり計画の進捗状況について(第8回)

**事務局** 平成26年度末までの「中央区区ビジョンまちづくり計画」における13の指標について総括説明

**委員**

1. 外国人誘客促進事業の詳細な実績を質問
2. がんばるまちなか支援事業採択事業の現在の状況について質問

### ▶G7新潟農業大臣会合について(第8回)

**事務局** 4月23・24日に開催される同会合の概要や関連事業などについて説明

**委員** 誘客人数や経済波及効果などについて質問

## 自治協委員研修を実施

11月4日、「水害と地域について学ぶ」をテーマに中央区自治協委員の全体研修を実施。19人の委員が大河津資料館(燕市)、宝光院(西区)、親松排水機場(江南区)を視察しました。大河津資料館では、越後平野を水害から守り、同地区の発展の礎となった大河津分水の工事の様子を聞きました。大河津分水のおかげで水害から守られた越後平野に新幹線や高速道路が走ったこと、下流の新潟市では川幅が狭まって土地利用が広がり、政令市指定へ向けた市の発展の礎となったことの説明がありました。



宝光院では、1896(明治29)年7月の「横田切れ」について檀家の古老の体験談などを聞きました。水が引いたのはその年の晩秋で、飢えと寒さのことなどが高田替女唄にも歌い継がれているということでした。

親松排水機場では、鳥屋野潟に流れる水を吸い上げて信濃川に流す排水作業の説明を受けました。この排水作業のおかげで亀田郷が田園地帯として発展してきたことを聞き、先人の苦闘を偲んで、治山治水は国の基、治水は新潟の基であると強く感じました。この研修を今後、地域防災の取り組みの参考にしていこうと思います。

委員 大堀隆夫

## 水辺とみなとのまち部会

今年度からの2カ年にわたる当部会の提案事業「みなと新潟『北前船物語』」では、第4期(平成25～26年度)の当部会が提言した「北前船時代の新しい街並みづくり」に沿い、部会で自らできることに取り組んでいます。

現在、新潟を除く開港四港の開港150周年記念事業の調査および五港以外の港で実施した開港記念事業の調査を実施しています。また、北前船ゆかりの地である下町地域の地域コミュニティ協議会やまちづくり団体との連携強化を目的に情報交換会を実施する予定です。



金刃比羅神社奉納模型和船

平成28年度は、次世代への歴史の継承の一環として親子で歴史を学ぶ企画のほか、歴史的建造物の保存や歴史的街並みの景観保存についての勉強会を予定しています。

これら一連の取り組みの成果が、2019(平成31)年の開港150周年を記念する関連事業に寄与していけるものとなるよう努めていきたいと思います。

座長 藤田孝一

## 人にやさしい暮らしのまち部会

当部会では、地域コミュニティ活性化のための防災活動として「自助」「共助」「公助」について2カ年計画で調査・検討を重ねています。



今年度は、災害時の「自助」をテーマに、新潟地震と同規模の災害を想定し、先進地事例を参考に、各家庭での備えのための「我が家の防災チェックリスト」を作成中です。区民の皆さんにも近々配布します。

一方、新しい試みとして、地域の将来を担う学生の皆さんに自治・町内会のことをもっと知ってもらおうと、新潟大学人文学部の学生と懇談会を開催しました。その後、学生の皆さんは15の自治・町内会に出向き、各会の運営などについて会長から聞き取り調査を行いました。今後、その報告を兼ねて懇談会を開催する予定です。

将来、この学生さんたちが自治・町内会を背負う人に育ってくれることを期待してやみません。

座長 田村勝義

## 拠点と賑わいのまち部会

当部会では、今年度から2カ年にわたり「未来に備えた地域の賑わい創出・活性化」をテーマに活動しています。

今年度は、昨年度まで行ってきたアンケート調査に代えて、グループインタビューによる調査を行い、報告書にまとめることにしました。グループインタビューは、市場調査などに用いられる定性調査のひとつです。調査担当者と対象者数人で行う面接方式の調査で、アンケート調査などの定量調査に比べて、調査対象者の潜在的なニーズや行動に対する理解を深めることができるかとされています。

現在、グループインタビューの実施のため、当部会で議論を重ねてきた区の未来像を絞り込み、インタビュー項目を整理するなどの準備を進めています。

また、有識者を招いて勉強会を開催する予定です。

座長 浅野昌禧



古町七番町商店街新年書き初め(1月2日撮影)

## 区民参加のまちづくり 第9回自治協議会の概要

昨年12月18日の全体会議では、議事として平成28年度の中央区自治協議会提案事業について話し合ったほか、各部会や委員などからの報告がありました。

※会議の概要や資料は、市役所本館1階市政情報室で閲覧できます。区ホームページには順次掲載します

### ■次回の開催案内

日 1月29日(金)午後3時から

場 市役所本館6階 講堂

傍聴者の定員 先着20人

問 地域課企画担当(☎223-7023)

※議題は、市役所本館や東・南出張所および区役所ホームページで見ることができます

### 編集後記

自治協だより編集部では、自治協が市民からの認知度が低いことが話題になりました。

自治協は、市長や市の諮問に対して意見を述べるなど重要な役割を担っており、個性的で経験や知見豊かな委員が特色あるまちづくりのために活動しています。

活動内容を分かりやすくお知らせするように尽力しますので、今後ともよろしくお願いたします。

自治協議会だより編集部 座長 井上基之